

研究課題名	非血縁者間末梢血幹細胞移植における採取施設と移植施設の CD34 測定値に関する実態調査
研究の意義・目的	末梢血幹細胞移植において生着に必要な幹細胞数の目安となる CD34 陽性細胞数は、測定法により大きな差が生じることが知られているが、日本骨髄バンクでは測定法の規定がなく問題となっている。非血縁者間末梢血幹細胞移植において、ドナーから採取する施設と患者に移植する施設それぞれで測定した CD34 陽性細胞数に実際どれほど差があったのか、移植時期によって差があるのか、非血縁者間末梢血幹細胞移植累計 1000 例に達する前に調査し、今後の対策の必要性について検討する。
研究の方法	非血縁者間末梢血幹細胞移植症例それぞれの、日本骨髄バンクに報告された末梢血幹細胞採取施設における CD34 陽性細胞数と、移植施設から提供された当該施設内で測定された CD34 陽性細胞数を比較し、施設間差の程度を調査する。
研究の期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究対象の期間…2011 年 3 月 1 日～2020 年 2 月 29 日</li> <li>・研究実施期間…2020 年 2 月 26 日～2021 年 3 月 31 日</li> </ul>
試料・情報の外部機関への提供	末梢血幹細胞採取時のデータを、研究責任者の所属施設である駒込病院に提供する
個人情報保護の方法	本研究で使用するデータは、特定の個人を識別する情報を含まず、特定の個人情報と連結するための対応表も必要としない、匿名化された情報である。
結果の公開	研究結果の公表は、研究代表者が共同研究者と協議の上、研究代表者、共同研究者、または研究協力者が論文、学会発表を行う。その際、個人を識別できる情報は一切含まない。
試料・情報の管理責任者	研究責任者：都立駒込病院 輸血・細胞治療科 原口京子 当院責任者：江南厚生病院 血液・腫瘍内科代表部長 尾関和貴